

3/3 は耳の日

垂れ耳わんこは外耳炎にご用心！

外耳炎の犬種別請求割合

順位	犬種	割合
1	ウエスト・ハイランド・ホワイト・テリア	29.2%
2	アメリカン・コッカー・スパニエル	27.6%
3	ゴールデン・レトリバー パグ フレンチ・ブルドッグ	25.4%
6	バーニーズ・マウンテン・ドッグ	22.1%
7	イングリッシュ・コッカー・スパニエル	21.2%
8	ラブラドル・レトリバー シー・ズー マルチーズ	20.4%

調査方法:2004年に新規、継続で「どうぶつ健保」に加入した犬 113,045 頭のうち、外耳炎を治療した犬 13,815 頭の給付金請求データを集計。犬種別外耳炎で通院した頭数／犬種別加入頭数×100%で請求割合を算出。

3月3日の「耳の日」※にちなみ、犬がかかりやすい疾病のひとつといわれる外耳炎の治療状況を調査したところ、12.2%が治療を受けていることがわかった。

給付金請求の犬種別割合を見てみると、おおむね長毛や垂れ耳の犬種が上位を占める結果になっていた。これは、耳の中に毛がたくさん生えていることや耳が垂れていることで、通気性が悪くなることに関係していると考えられる。

獣医さんなど専門家の指導のもと、耳掃除をする、耳の中の毛を抜くなどのケアをこまめに行うことで予防に努めたい。

※「耳の日」は、耳鼻科学会が音頭を取り、「耳の健康を考える日」として、厚生省のバックアップで 1954 年に制定された。「耳」の語呂合わせに加え、ヘレンケラーがサリバソンの指導を受け始めた日、電話の発明者グラハム・ベルの誕生日であるといった理由からこの日が選ばれた。